



# 電気こどもシリーズ

第623号は  
**深海**  
平成18年7月1日発行

発行所/電気こどもシリーズ係  
〒461-8680  
名古屋市中区東新町1番地  
中部電力株式会社・広報部  
●電話/052-951-8211



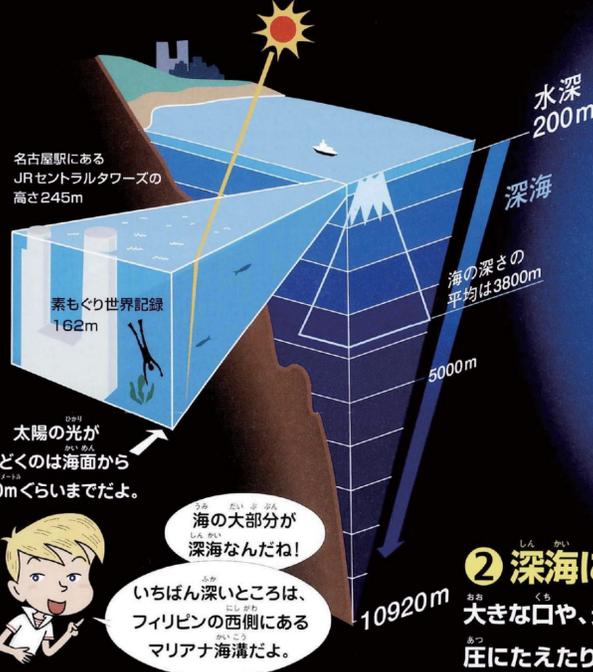
ホームページでは、特集についてもっとくわしく紹介しているよ。  
電気こどもシリーズで **けんさく** してね。今までの特集も見られるよ。  
<http://www.chuden.co.jp/kids/denkipaper/>

地球の表面は70パーセントが海。  
その海の深い部分「深海」には、地球や生命のなぞがたくさんつまってるんだって。

## 深海ってどんなところ?

### ① 海の中ってどうなっているの?

海の深さの平均は約3800m。ちょうど富士山がすっぽり入ってしまう深さなんだ。  
水深200mより深い部分を「深海」といい、海の95%を占めているよ。



太陽の光がとどくのは海面から200mくらいまでだよ。

海の大部分が深海なんだね!

いちばん深いところは、フィリピンの西側にあるマリアナ海溝だよ。

※チムニー  
硫化水素をふくんだ熱水がふき出すえんとつ。水の温度は350度になるものもあるんだって!



硫化水素  
チムニー  
バクテリア  
ハオリムシ

### ② 深海にはどんな生物がいるの?

大きな口や、光る体、暗くてもよく見える目。高い水圧にたえたり、熱水でも冷水でもへいきだったり…と深海の生物たちは、環境に合わせて特別な進化をしているよ。なかにはチムニーからふき出す熱水にふくまれる“毒”の硫化水素を食べて生きている生物もいるんだ。でも広い深海で、人間が見つけた生物はまだほんの一部にすぎず、調査のたびに

新発見がたくさんあるんだって。

えっ、毒を食べているの?!

ほくたちはバクテリアが硫化水素を食べるよ!

ほくたちはそのバクテリアを直接食べるよ!

ほくたちには口も胃もないんだ。

●ユノハナガニ (水深430~1400m)  
熱水がふき出すチムニーの周りで暮らしているんだ。目は退化してなくなっているよ。

●チューブワーム (ハオリムシ) (水深1000~3500m)  
体の中にバクテリアを飼っていて、体の中で直接栄養をもらうよ。だからほくたちには口も胃もないんだ。



チムニー

### 深海の世界は

**寒い!**  
深海の水温は1度~4度。

**暗い!**  
太陽の光が届かない。

**水圧が高い!**  
深くなればなるほど水の重みが増えてくるよ。水深6000mでは、1cm<sup>2</sup>に600kgの重さがかかるよ。  
←1cm<sup>2</sup>はこの大きさだよ。

●ジョルダンヒレナガ  
チョウチンアンコウ  
(水深100~1500m)  
頭についた細い糸のようなもので、えもの接近を感じてつかまえるよ。



●フウセンウナギ  
(水深1000~3000m)  
大きな口はエサの少ない深海でえものを確実に食べるためだよ。



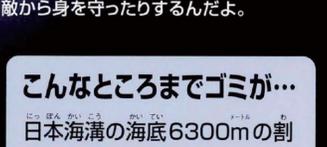
●ボウエンギョ  
(水深370~5700m)  
暗やみでもよく見えるように目は望遠鏡みたいに進化している。



●ムラサキカムリクラゲ  
(水深500~700m)  
深海にはたくさんのクラゲがいるよ。



●ミツマタヤリウオ  
(水深700~1000m)  
体を光らせて、エサをおびきよせたり、敵から身を守ったりするんだよ。



### ③ どうやって深海を調査しているの?

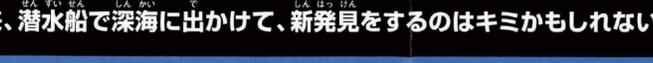
昔、深海生物の調査は底引きのカゴや大きなネットで行われていたんだ。人が乗って深海にもぐる潜水船ができ、研究者が目で直接見ることができるようになり、今まで知られていなかった深海の地形や生物のことがたくさん分かってきたよ。深海や深海の生物を調べることは、地球誕生の秘密や地震が起きるしくみを解明したり、新しい技術を生み出すために、とても大切なんだよ。

しんかい6500  
人が乗って6500mの深さまでもぐることができる、日本がほこる世界一の潜水船なんだ!3人乗りで、深海のようすをカメラで撮影したり、人間の手と同じように動く機械の腕で、海底にあるものを調べたり、採ったりすることができるよ。



今までに900回以上ももくったんだって!ほくも乗ってみたいなあ!

まだまだなぞの多い深海。これからの調査や新しい発見が楽しみだね。将来、潜水船で深海に出かけて、新発見をするのはキミかもしれない!



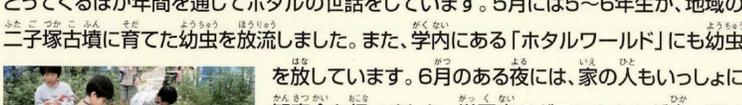
## スクール探検隊

探検する学校をさがしています。ホームページがあればアドレスを教えてね。

特色ある、面白い活動をしているみんなの学校の様子を探検します。

愛知県阿久比町立東部小学校  
<http://www.agui-toubu-e.aichi-c.ed.jp/>

東部小学校のある阿久比町は、ヘイケボタルを守り、育てる活動を続けています。東部小では学年ごとにホタル学習に取り組んでいて、教室のひとつはホタルを育てる「ホタルの部屋」になっています。ここには水そうがいくつも並び、4~6年生の環境委員会のメンバーが、えさをとってくるほか年間を通してホタルの世話をしています。5月には5~6年生が、地域の二子塚古墳に育てた幼虫を放流しました。また、学内にある「ホタルワールド」にも幼虫



を放しています。6月のある夜には、家の人もいっしょに観察会を行いました。学区内のどこかでホタルが光っているか、ほびきいるかをチェックしたのです。暗い中を静かに動くホタルの光は本当にきれいです。

ホタルは水のきれいなところでしか育たないので、二子塚のまわりをそうじしたり、町をきれいにと呼びかけるしおりを配り、ホタルの住める町づくりを呼びかけています。これからもホタルと、ホタルの住めるきれいな環境を守りたいです。

## みんなのおたよりコーナー

三重県桑名市長島北部小学校6年生のお友達から「天気予報」号についてのおたよりが届いたよ。  
天気予報で一時雨と時々雨といってるけど、どこが違うんですか?天気予報の言葉は子供にはむずかしいな。

予報する時間のうち、雨が続けて降る時間が4分の1より少ないときは「一時雨」、雨が降る時間の合計が4分の1以上で2分の1より少ないときは「時々雨」と言うんだよ。だから「今日の午後はくもり一時雨」というと、「今日の午後12時間のうちに、3時間より少なく雨が降る」という意味なんだ。天気予報の言葉はむずかしいけど、ちゃんとおぼえて役に立てられるといいね。

「電気こどもシリーズ」では、今回の特集についての感想や「~について特集してほしい」といった希望などを募集しているので、どしどし送ってね。おもしろいおたよりを送ってくれた人の中から何人かのお友達に「しんかい6500のスポーツタオル」を送ります。

## どっちが正解クイズ

ヒントは、必ずこの新聞のどこかに書いてあるからよ〜く見てね!

問題 海の中に太陽の光がとどくのは海面からどのくらい?

答え ①約200m ②約3800m

●正しく答えた人の中から抽選で50名に「しんかい6500のプラモデル」をプレゼントします。

前号のクイズ 気象データを、地上から自動で観測するものはどっち?

答えは①アメダス

## 「クイズの答え」や「おたより」の送り方

「クイズの答え」や「おたより」(どちらか一つでもいいよ!)といっしょに次の

①~④を記入して送ってね。

①学校名 〇〇市(町村)立〇〇小学校と必ず書いてね。(例)名古屋市中電小学校

②学年・組 ③名前 ④感想

●しめ切り:8月25日 賞品は9月15日までに校長先生あてに送ります。

はぎのあて先 〒461-8680 中部電力 電気こどもシリーズ係

ホームページからも送れるよ!  
<http://www.chuden.co.jp/kids/denkipaper/>